

茨城県教育目標
いばらき教育プラン
茨城県総合計画

学校教育目標

自主・勤労・共栄の精神を高め、自分の目標に向かって生き生きと取り組む実践力のある生徒を育成する。

土浦市
学校教育の目標

めざす生徒像

校訓「自主・勤労・共栄」の精神を育む生徒＝社会に出て通用する生徒

- ・自ら進んで取り組み、正しく判断、行動できる意欲ある生徒
- ・心身を働かせ、一所懸命活動する生徒
- ・協力し、助け合い、共に伸びる生徒

学校経営方針

- ◎自他のよさを認め合い、高め合える人間関係の醸成と自己肯定感の高揚
よさを見つける→よさを認める→プラス思考で高め合う
- ◎学級力向上（学年学級経営の充実）を基盤とする学力向上
一人学び⇔協働的な学び、知識・技能⇔思考・判断・表現
納得「わかった!」・感動「できた!」の授業

求める教師像

- ・健康で人間性豊かな魅力ある教師
 - ・情熱を持ち、常に生徒と共に実践する教師
 - ・「力のある教師」を目指し、常に研鑽を積む教師
- *「二中に勤務してよかった」と思える活力ある教職員集団

学校組織目標

- 自分で（自分たちで）判断・行動し、ともに高め合う集団づくりを通して、教師の資質向上に努めるとともに、生徒の人間力向上・学力向上を図る。
- 働き方改革の視点を持った学校運営の推進を図る。

三文化

3_C

不易と流行による人育て
時を守り【2分前着席 提出物】
場を清め【黙働清掃】
礼を正す【声、目、先言後行】
チャレンジ&レベルアップ
コミュニケーション能力
キャリア教育



施策を推進するための学校の働き方改革

<時間外勤務に係る目標>

- ①月45時間以内50%
- ②月80時間以上0%

具体的施策～生徒一人一人の幸せのために～

確かな学力



- ①問題解決的な学習の展開（疑問・熟考・対話・解決・納得・感動のある授業）
- ②ICTの効果的活用（意欲・理解・表現力）
- ③教科横断的・学年縦断的つながり（カリキュラムマネジメント）を重視した教科指導
- ④読解力・論理的思考力を高める授業の展開
- ⑤情報活用能力の育成（複数の資料を比較・関連）
- ⑥主体的に学び続けるための家庭学習（型からの脱却のために学びの型を学ばせる）
- ⑦授業力向上と適切な学習評価に係る研修の充実

豊かな心



- ①他者の良さを認め合える人間関係の構築
- ②特別活動（生徒会活動、学級活動）の充実による自治能力の育成
- ③道徳科の授業の質的転換
- ④いじめの未然防止・早期対応・SOSを出せる教育の推進
- ⑤人権教育の推進（情報モラル教育等）
- ⑥特別支援教育の視点を活かした生徒指導の推進
- ⑦家庭や地域と連携・協力した積極的生徒指導の充実

健やかな体



- ①自他の健康・安全を主体的に考え、行動する力の育成
- ②体育経営の充実（実態把握→計画→実践→習慣化）
- ③学校、家庭、地域が一体となった体力づくりの推進
- ④魅力ある運動部活動の運営
- ⑤発達段階に応じた計画的な保健教育、安全教育の実践
- ⑥目的意識を明確にした避難訓練（自助・共助）
- ⑦食に関する指導の充実と実践化

小中一貫教育テーマ

読書
10冊 100%
30冊 30%

自ら学びに向かい、確かな学力を身につける児童生徒の育成
～振り返りの充実を図り、「わかった」「できた」の過程を可視化する工夫を通して～